

## 2 広域的な課題の調査研究に関すること

### ア 環境づくりの推進に関すること



主管：環境課

#### 経緯

今日における世界的な環境問題としては、気候変動、海洋プラスチックごみ汚染をはじめとした資源の不適切な管理、生物多様性の損失が挙げられます。これらの問題は、私たちの日常生活や社会活動に多大な影響を与えています。

わが国では、温室効果ガス削減に向け、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこと、さらに、50%の高みに向け、挑戦をすることを掲げています。（地球温暖化対策計画・2021年10月閣議決定）

また、温室効果ガスの排出量縮減するために、令和3年2月には木曾広域連合と木曾広域連合議会で「気候非常事態」を宣言し、5つの活動目標を決定しました。

#### 現状と課題

木曾地域は、豊かな自然に恵まれ下流域の水源地でもあります。総面積の93%にあたる森林から、温室効果ガスの吸収効果、森林セラピーによる癒し効果があると研究結果から判明しており、重要な地域になります。そのため、木曾地域の自然環境を良好に保っていくために、環境の保全や水の保全を継続して担っていく必要があるほか、自然資源の循環的・効率利用を目指し、自然エネルギーの活用を図る必要があります。

不法投棄対策として、木曾郡不法投棄防止対策協議会を中心に、構成町村、関係団体にて不法投棄防止パトロールの実施、ごみ拾いなどの啓発活動また、不法投棄防止看板の設置などを行っていますが、投棄者の特定をできない現状です。このため、引き続きパトロールによる巡視・啓発活動を行う必要があります。

また、国連で採択されたSDGsでは、環境保全の取組を通じ経済・社会の諸課題を解決する役割が求められています。

#### 今後の方針

木曾地域での環境保全、資源循環型地域づくり推進のために、「気候非常事態宣言」や「SDGs」の取組について構成町村間で施策を統一し、今後の対応策について広域的に取り組んでいきます。

また、地球温暖化対策やエネルギー問題は、永続的な循環型社会構築の観点から、行政自らが環境に配慮した取組を率先して行い、郡民及び事業者の協力を得るために積極的な情報発信を行うとともに、大切な自然資源の保全、利活用の強化や廃棄物の適正処理、不法投棄対策等に取り組み、快適な住環境の維持に努めます。

#### 施策

- 1 環境づくりの推進に関する調査研究を行います。
  - ① 環境保全
  - ② ポイ捨て禁止条例に基づく施策の推進・啓発活動
  - ③ 環境保全推進団体への参加
  - ④ 自然エネルギー活用の調査研究
  - ⑤ SDGsに関する目標達成への取組